

令和8年度

# 【倉敷市立多津美中学校 グランドデザイン】

## 保護者・地域

基本的生活習慣の改善地  
域連携による協働  
学校との信頼関係の構築  
学校運営協議会連携

第4次岡山県教育振興基本計画「夢に向かって、たくましく、心豊かに、未来を拓く」人材の育成

倉敷市教育大綱「“From Kurashiki”が誇りとなるひとづくり」

倉敷市「よい子いっぱいのもち倉敷」～信頼と愛情に基づいたあたたかい心を基調として～

## 教職員

認め合う組織  
支え合う組織  
高め合う組織

### 学校教育目標

「一人一人が主体的に正しく判断し、行動できる生徒」

(徳) (知) (体) (夢)

**生徒像** ○健康で活気に満ちた生徒 ○心情豊かで、互いに磨きあう生徒 ○礼儀正しく、規律ある生徒

### 重点的に育成を目指す資質・能力

- ◎ 共生社会の一員という意識・意欲・態度の育成
- ◎ 自己肯定感、コミュニケーション力の育成
- ◎ 主体的に学ぶ意識の醸成、自己調整力の育成

### 学校経営の基本方針

「生徒が主役の学校創り」

○一人一人の資質・能力を高める学校

○地域・保護者から信頼される学校

○教職員が生き生きと、組織的に力を発揮する学校

### 第1 何ができるようになるのか (学校教育の基本)

- ・自分を大切に、人を大切にできる
- ・主体的に考え、正しく判断し行動できる
- ・自分の考えを豊かに伝える
- ・「学び」を生活に活用できる

### 第3 何が身についたのか (学習評価を通じた学習指導の改善)

- ・人権意識の高まりと自己指導力の向上
- ・友への共感、違いに気づく力、学びの調整力
- ・根拠をもって問題解決方法を見出す力
- ・自分の考えを修正改善、再構成する力

### 第4 子どもの発達をどのように支援するか

- ・個を大切にした支援と支え合う集団づくり
- ・自己肯定感の醸成のための環境整備や場の設定(学級経営, 学校行事を効果的に活用)
- ・学習の見取りの充実、学びの調整力支援(タブレット活用などによる個々への対応)

### 第2-A 何を学ぶか(教育課程の編成)

- ・道徳教育、人権教育の充実
- ・情報発信力・コミュニケーション力の育成
- ・学び方を学ぶ教育(自己指導力、主体性)
- ・納得解を求める姿勢

### 第2-B どのように学ぶか(教育課程の実施)

- ・人とのつながり、自身の生き方の学びの充実
- ・総合的な学習の時間、行事、特別活動等の系統的学びの工夫
- ・基礎・基本の定着(ICT活用・モジュール時間の工夫)
- ・自分ごととして考える学び(振り返りの充実)

### 第5 実施するために何が必要か(指導体制の充実, 家庭や地域との連携・協議)

授業改善・研究推進, 校内研修の充実(OJT), 家庭学習の充実, 多様な交流学習・体験活動  
地域・保護者との連携, 外部機関との連携・協力, 地域素材・人材を生かした授業づくり

### 安心・安全を守る

情報モラル教育、交通安全指導の充実、防災・防犯、人的・物的環境

### 開かれた学校づくり

情報発信の充実、学校運営協議会、地域連携、かすみが丘会との連携